アクションポート横浜 活動レポート

 $2019.4 \sim 2020.3$

京会議の関から 日本語の関から 日本語の 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語



この1年を振り返って

今年も皆さんの応援で、無事に1年活動できました。いつもありがとうございます! 2019年度を振り返るとアクションポートらしい活動が展開・発展できた1年でした。

何より大きかったのは横浜アクションアワードの立ち上げ。学生と地域(NPO)をつなぐアクションポートとしては、その実践をしている方々とつながり、発信の機会を作れたのは大きな一歩でした。成果と関係性を大事に育みたい。

そして、左近山では住み込みで活動する学生の伴走支援が始まったり、NPOインターンシップラボでは栃木や札幌、小松と他都市にもたくさんお邪魔し、関係性が広がりました。青山学院大学さんや日本NPOセンターさんをはじめ、いろんな方々からもお声掛けいただきました。他にもたくさんあります。

2020年はこの成果を活かし、出会いを大事に、一歩一歩踏みしめて活動していきます。

皆さん、応援お願いします。

代表理事 高城芳之

2019年度の活動一覧

- ●サンタ実行委員会発足
- ●YAPキックオフイベント開催 -



- ●どろんこバレー@町田参加
- NPO/NGOの組織基盤強化のためのワークショップ開催
- ●明治学院大学戸塚まつりに参加
- ●さこらぼ 会議スタート



- ●アクションポート横浜総会
- ●NPOインターンシップお見合い会
- ●NPOインターンシップラボ勉強会開催

- ●NPOインターンシップ研修会参加
- ●青山学院大学プログラム報告会参加





- ●インターン生受け入れ開始
- ●U25左近山会議開催
- ●<YAP>どろんこバレー参加



- ●打ち水開催
- ●カブリモノ研究会に参加
- ●NPOインターンシップラボシンポジウム開催・

- ●NPOインターンシップ短期報告会開催
- Yahoo!基金「NPOの知らせるカプロジェクト」 書き手講座開催



- ▶学生企画エコツアー開催
- ●サンタ学生企画スタート
- ●「若者がワクワクする活動をつくる in栃木 | 開催

- ●サンタプロジェクト2019開催
- ●サコメシ開催





サンタプロジェクト報告会実施



- ●東戸塚学童での学生企画実施
- 横浜アクションアワード開催





NPOインターンシップ長期報告会開催



活動報告 - 新規活動

横浜アクションアワード

若者と地域のパートナーシップ活動をより応援し、広げていくために、「横浜アクションアワード」を創設

若者と地域の活動には多くのメリットがある一方で、モチベーションや短いスパンで世代交代してしまう継続性など、マッチングには難しさもあります。

このアワードは一方的に活動を評価する賞ではなく、そんな難しさも含めて活動を広く知ってもらい、若者を応援する場、つながりを広げる場を目指して創設しました。そのため、大賞受賞団体には賞金に加えて、アクションポート横浜による活動支援サービスを提供し、また、当日一般参加者は自分が応援したいプロジェクトに寄付ができるなどの仕組みを設けました。

今回は5つの事例のプレゼン審査がありましたが、どの発表も多様で視点も異なり、若者と地域のパートナーシップといっても非常に様々な連携があると感じました。

大賞・協賛賞を選びましたが、どの活動も素晴らしい内容で、 会場の皆さんにもその想いの熱量が伝わったと思います。

また、後半の交流会では大人の方から参加団体の学生に声を かけてくださるシーンを見かけたり、参加団体からも一緒に活 動する仲間が見つかったとの声をもらいました。

この場をきっかけに、参加してくださった皆さんの活動の発展にささやかながらも貢献できたのではと思っています。

アワードの趣旨からするとこの場はゴールではなく、スタートです。

アクションポート横浜として、若者と地域の活動がより発展 していけるように、団体や参加者の皆さんとコミュニケーションを取りながら、活動を応援していきます。そして次年度のアワードの運営につなげていきたいと思います。

【参加団体】

フェリス女学院大学エコキャンパス研究会

×横浜市環境創造局

地域・国際貢献につながる「女子大生にもできる楽 しいエコ活動 |

神奈川大学山岡ゼミ×佐藤農園・永島農園

「佐藤農園と永島農園における農業の多面的機能 |

神奈川大学ボランティア支援室×六角橋自治連合会 「"まち×学生プロジェクト"協働によるまちづくり 活動」

横浜市立大学環境ボランティアStepUp↑

×西大道町内会

子どもたちと学びや交流を深める「西大道寺子屋 塾」の開催

横浜国立大学生×NPO法人オールさこんやま 「サコラボ」学生による左近山団地の活性化

自身の4年間を振り返る、良い機会になりました。横浜でいろんな活動をしている同年代の学生が多くいる事を知り嬉しかったです。

プレゼンで順位をつけられるのは初めてでしたが、大賞を頂けたのはまちかけで出会えた「仲間」のおかげです。まちかけに関われたことを誇りに思います。

(大賞受賞 小倉勝十さん)











サコラボ

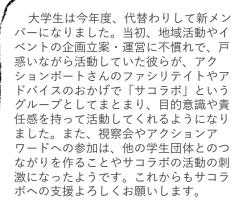
サコラボは、横浜国立大学の学生が左近山団地に住みながら、横浜市旭区、UR都市機構、NPO法人オールさこんやま、そこにアクションポートが加わって共に、左近山団地を盛り上げていこう!というプロジェクトです。

5月から、月1回の定例会+定期的なイベントの開催に携わってきました。サコノミ、サコメシといったイベントでは学生ボランティアを受け入れるためのマニュアルを作成し、回を重ねるごとに円滑な運営ができるように。また、同じように団地で活動する国立の学生団体や、学生ボランティアの募集や運営を上手く行っている戸塚の学生団体を視察先としてコーディネート。

2020年度も引き続きサポートを行います。よこはま夢ファンドを利用した寄付による運営や、学生が団地に住まなくてもサコラボメンバーになれる仕組みなど、新しい取り組みを模索中。彼らのこれからにご期待ください!

Control of the contro





(旭区区政推進課 馬立さん・中島さん)



青山学院大学 サービス・ラーニングパイロットプロジェクト

青山学院大学相模原キャンパスのパイロット科目「サービス・ラーニングとしてのボランティア活動」に団体コーディネートの立場で関わりました。私たちからは、NPOインターンシップで毎年お世話になっている、4つの団体を紹介させていただきました。

この授業は6月に学生たちがNPO等の団体で体験活動を行うというもの。事前には受け入れ団体の紹介やサーバント・リーダーとは何か?といった講義があり、事後には時間を掛けて丁寧に振り返りを行い、受け入れ団体を含めた報告会も行いました。

パイロット的に行われた授業で探り探りに活動が進む中、 受け入れ団体、大学、学生がひとつになって、繋がりを作り 上げられたことが素晴らしい成果だと感じます。



NPOと若者をつなぐアクション ポートと協働できたことで、授業と実 習の両方からの学びを発展させること ができました。ボランティア等の課外 活動とは異なり、授業科目の中で実施 する活動ゆえの制限がある中で、受け 入れ団体と大学側との目的の共有やリ スクマネジメント、またそのためのコ ミュニケーションを重ねることの重要 性をあらためて実感しました。NPOの 方のお話や現場での関りから、学生が 地域社会やグローバルな課題に取り組 むことに対して臨場感を持って知るこ とができ、既存の知識やイメージを問 い直す場を共に形成していく機会とな りました。

(青山学院大学 秋元みどりさん)

活動報告

NPOインターンシップ

今年は59人の学生が、短期は10日間、長期は6か月間の間NPOで活動しました。

「人生変わりました!」と言ってくれる子がいたり、その後も受け入れNPOから誘われたイベントに積極的に参加してくれる子がいたりと、一人一人それぞれの学び・つながりを持ちかえって来てくれました。

現場に行くことで「NPOが地域と近いとはどういうことか」をその意味で知ることができるのがこのインターンシップの良いところ。このきっかけを、自身の将来と地域の発展に役立ててくれたら、と思います。



横浜サンタプロジェクト

今回のサンタプロジェクトでは、昨年に引き続き横浜高速鉄道さんのご協力で、みなとみらい駅に サテライト会場を設け、プレイベントを開催することができました。

笑顔を届けた子どもたちは501人、参加者(サンタ)は762人でした。

2019年は新しいつながりも増え、成果もありましたが、10年続けてきたこのプロジェクトのアップデートが必要だと感じた年でもありました。

やるべきが強くなるとやりたいが見えなくなる。誰かのやりたいがいつのまにか当たり前になって、 やらなきゃに変わる。続けてきたからこそ、簡単には変えられない部分もあって…難しい。

2020年も、これまでの良い部分は残しつつも、さらに良い形にできるよう考えていきます。応援よろしくお願いします。





活動報告

NPOインターンシップラボ

昨年度立ち上がったNPOインターンシップラボ。地域と若者の出会いや双方の成長を促すことができる「NPOインターンシッププログラム」に着目し、運営していく中間支援組織が効果的なプログラムが展開していけるようにサポートしてきました。

2018年度に引き続き、勉強会を4度開催。9月には青山学院大学で「まちに"小さな主人公"が育つしかけとは?」シンポジウムを開催し、67名の方にお集まりいただきました。

今年度は勉強会を栃木で開催したり、札幌や小松でNPOインターンシップを行っている方々とのつながりもでき、全国へはばたく一歩を踏み出せた年となりました。

今後も、NPOインターンシップが全国に広がり、まちなかのコーディネーターが増えていくことを目指して活動していきます。



エコツアー

今回のエコツアーでは、「食品ロス」をテーマにして、日本フードエコロジーセンターさんと、山 崎製パン横浜第一工場さんを見学するツアーを行いました。

日本フードエコロジーセンターでは、飲食店やコンビニ、ホテルなどの食品を扱う事業者から、まだ食べられるのに廃棄してしまう食品を受け入れ、特殊な加工を施して養豚のための飼料に変えています。大量の食品廃棄を目の前にし、食品ロスの現実を実感することができました。

山崎製パン横浜第一工場では、普段は公開していない製造ラインを特別に見学させていただきました。









ライフキャリア事業

神奈川県男女共同参画課との事業。高校生向けの啓発冊子づくりや出前講座、中学生向けプログラム・教材の作成などを行った。







SNAP事業~地域の若手職員のキャリアを考え、みんなで育つネットワークづくり

横浜市市民局との協働事業。若手NPOスタッフが今後地域に担い手になっていく上で必要なこと何か。みんなで考えていく場を作りました。今年は3年間の集大成としてNPOの人材育成に関するワークブックを発行。



日本NPOセンターとの連携事業

日本NPOセンター等と連携し、「NPO/NGOの組織基盤強化のためのワークショップ」「Yahoo!基金「NPOの知らせる力プロジェクト」書き手講座」を開催した。



横浜アクションフォーラム

「横浜から地域のみらいを考える」と題して、4回ほどテーマ型勉強会を実施しました。若手社会人、埼玉(地域性)、市民活動支援、子育てなどテーマは様々ですが、各回共に活動を深めることにつながる内容でした。



ツナカンハウス

毎月1回の現役学生と卒業生のゆるやかな集まりの場。今年もたくさんの卒業生に参加してもらい、楽しい時間でした。こうしたゆるやかな場から活動の充実や新しい企画へと繋がっていきます。



▲タウンニュース **2/20**号



▲大阪ボランティア協会情報誌『ウォロ』



▲学生がレポートする先輩体 験談、更新中。

参加学生コメント



明治学院大学3年 岡﨑 祐哉さん

昨年度のサンタプロジェクトでアクションポート横浜を知って、そこから色々活動に参加させてもらいました。

特に今年度のエコツアーでは、企画リーダーという大学生活で初めての経験をしました!始めは、テーマは何がいいか、どんな風に企画書を書けばいいのかなど、右も左も分からない状況でしたが、高城さんや勝尾さんにアドバイスを頂いたり、一緒に企画運営を担当したメンバー皆の協力のお陰で素晴らしい企画にすることができました!

アクションポート横浜では、普通の大学生活では味わえない経験を沢山得ることが出来ます。学生の「やりたい」に対して、大人が本気で力を貸してくれます。その分、責任も問われますし、時には厳しい意見を頂くこともありました。しかし、そこを乗り越えた先には、人としての大きな成長が待っていると実感しています!



サンタPJを支えてくれた 実行委員会の仲間たち



インターンお見合い会を 一緒に運営してくれた インターンシップ卒業生たち



左近山を盛り上げるために 頑張るサコラボのみんな



インターンシップラボを 一緒に運営した仲間たち



企画が初めての中やり遂げた エコツアーのメンバーのみんな



アクションポート横浜で 活躍してくれた インターン生のみんな

京台門中間合門台 南台 南台 南台 南台 中 台 門 中 田 白

発行月 2020年3月

発行元 NPO法人アクションポート横浜 作成 2019年度学生スタッフ 勝尾桃花

URL https://actionport-yokohama.org

